

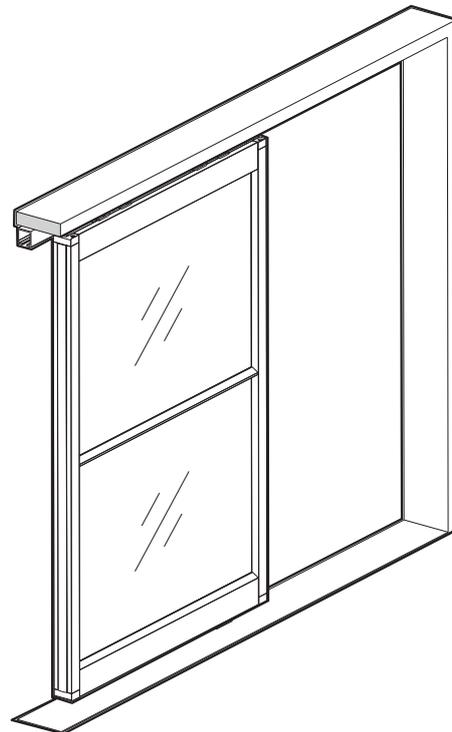
# LAMP® アルミフレーム引戸金物

## 上ローラー埋込仕様 AF-25HB 施工説明書 品番：AF-25HB-SET

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

### 本製品について

- マンション、一般住宅のリフォーム、新築、商業施設、公共施設の間仕切り、収納などで使える引戸金物です。
- 専用ローラーにより、上レールと扉との隙間を小さくできます。
- 肉厚の丈夫なアルミフレームによりゆがみが発生しにくく、大型扉が製作できます。



### 仕様

扉高さ※1	2200 mm 以下
扉幅※1	900 mm 以下
ガラス厚	5 mm または 6 mm
扉質量 (1 枚当り)	70 kg 以下
扉上下調整範囲	上方向に 1 mm、下方向に 4 mm

※1 中棧を設けることで、より大きな扉に対応できます。詳細は P.3 をご覧ください。

### 正しく安全に施工していただくために

#### 図記号の意味



警告  
注意



禁止



厳守



**警告** 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ❶ 本製品の施工は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをすることがあります。
- ❷ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをすることがあります。
- ❸ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ❹ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

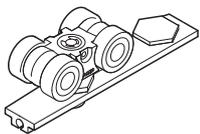
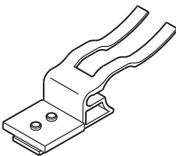
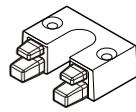
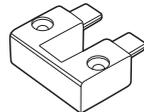
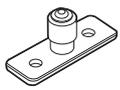


**注意** 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

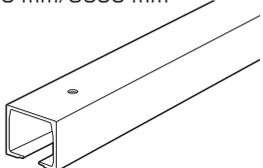
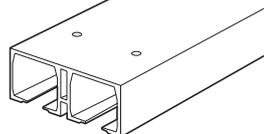
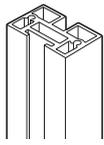
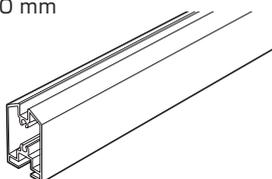
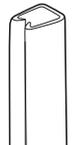
- ❶ ガラスは、強化ガラスを使用してください。また、ガラスには飛散防止フィルムを貼ることをお勧めします。
- ❷ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❸ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❹ 本製品は建具を構成する為の部品です。施工後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起もしてください。
- ❺ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

# 部品一覧

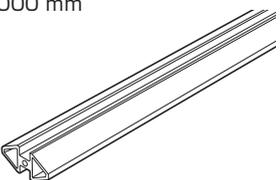
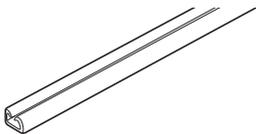
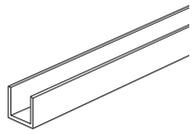
## 部品構成 (扉1枚分)

<p>①上ローラー 付属：専用スパナ22 六角レンチ3</p>  <p style="text-align: right;">2 ケ</p>	<p>②ストッパー 付属：六角レンチ3</p>  <p style="text-align: right;">2 ケ</p>	<p>③エンドキャップ</p>  <p style="text-align: right;">2 ケ</p>	<p>④コーナーパーツ 付属：六角レンチ 3</p>  <p style="text-align: right;">2 ケ</p>
<p>⑤下ガイド 付属：十字穴付なベタッピンねじ 4.5×16……2ケ</p>  <p style="text-align: right;">1 ケ</p>	<p>⑥取付ねじセット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・六角穴付ボルト M6×30 ……8ケ (縦横フレーム⑨⑩組立用)</li> <li>・六角穴付ボルト M4×30 ……6ケ (棧フレーム⑬取付用、1本につき2ケ使用)</li> <li>・六角穴付皿小ねじ M4×25 ……8ケ (コーナーパーツ④取付用)</li> </ul> <p style="text-align: right;">1 セット</p>		

## 長尺部品

<p>⑦上レール シングル (標準仕様) 2000 mm/3600 mm</p> 	<p>⑧上レール ダブル (標準仕様) 2000 mm/3600 mm</p> 	<p>⑨縦フレーム 2500 mm/3000 mm</p> 	<p>⑩横フレーム 2000 mm</p> 
<p>⑪ガラスパッキン 5 mmガラス用：2500 mm 6 mmガラス用：3000 mm</p> 	<p>⑫目隠しカバー 2500 mm/3000 mm</p> 		

## オプション部品

<p>⑬棧フレーム 2000 mm</p> 	<p>⑭棧パッキン 5 mmガラス用：2500 mm 6 mmガラス用：2500 mm 棧フレーム⑬とセットで使用</p> 	<p>⑮ガイドレール 1220 mm、1520 mm、1820 mm、 2440 mm、3000 mm、4000 mm 長さ3000 mm以上は取付穴なし</p> 
---	---	--

## 使う工具と準備していただくもの

- 上レール (⑦⑧) 固定ねじ 推奨：十字穴付なベタッピンねじ 5×40…必要数
- 下ガイド⑤固定ねじ 十字穴付なベ小ねじ 4×20……………2ケ (ガイドレール⑮使用時)  
(ガイドレール⑮を使用しない場合は付属ねじ 十字穴付なベタッピンねじ 4.5×16を使用)

## 扉仕様

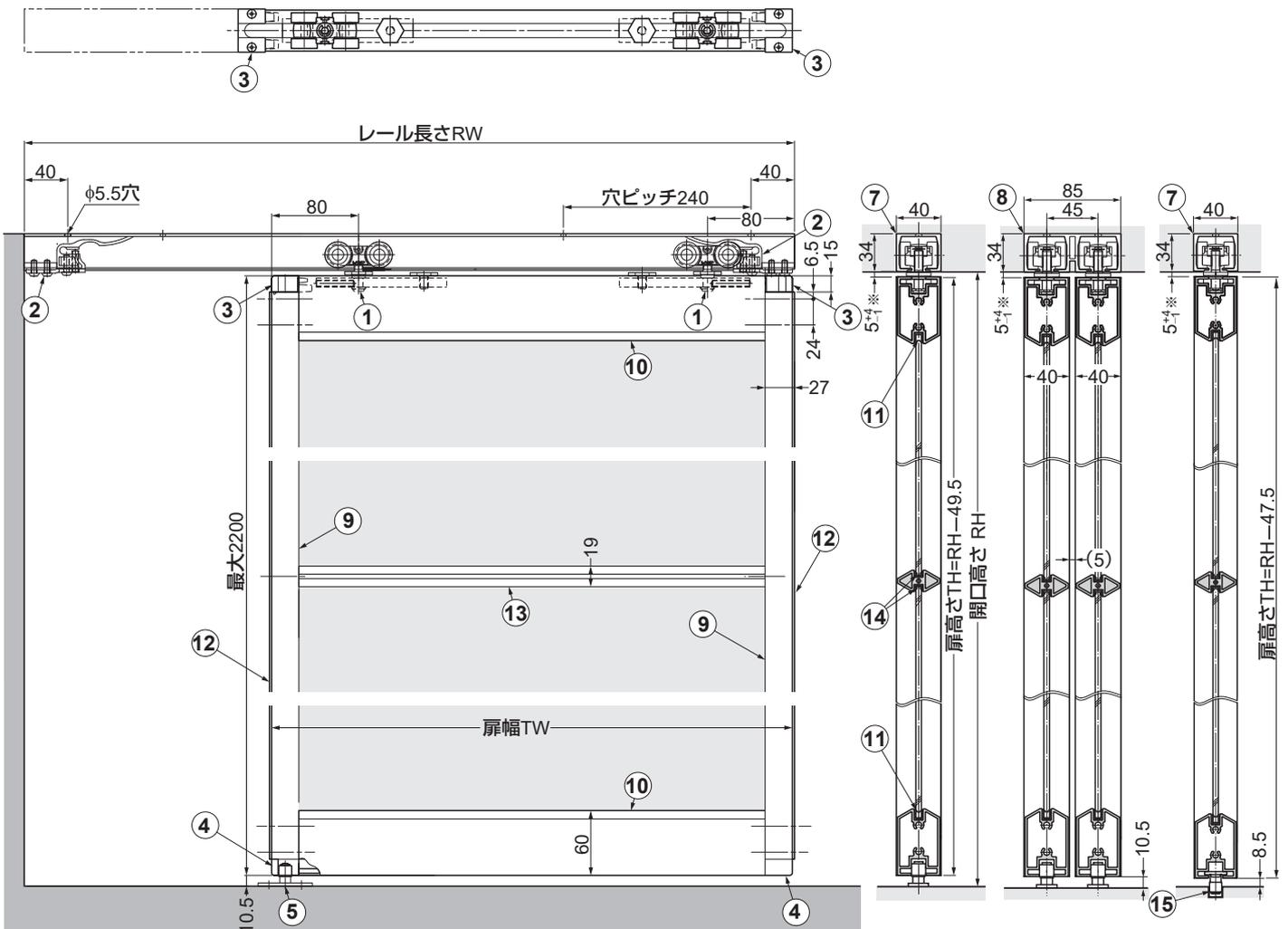
本製品は必ず縦枠のある場所に施工してください。

	中棧なし	中棧あり
扉幅	900 mm 以下	下表参照
扉高さ	2200 mm 以下	
ガラス厚	5 mm または 6 mm	
扉質量 (1 枚当り)	70 kg 以下	
扉上下調整範囲	上方向に 1 mm、下方向に 4 mm	

### ※ 1 棧フレーム必要数の目安

(ガラス厚 5 mm、扉質量 70 Kg 時)

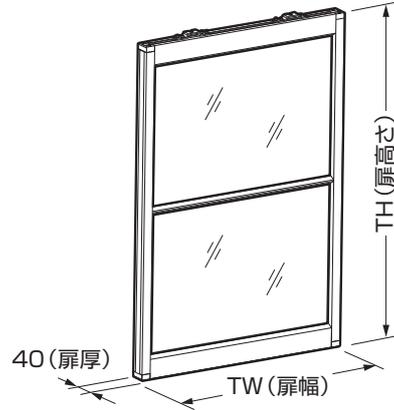
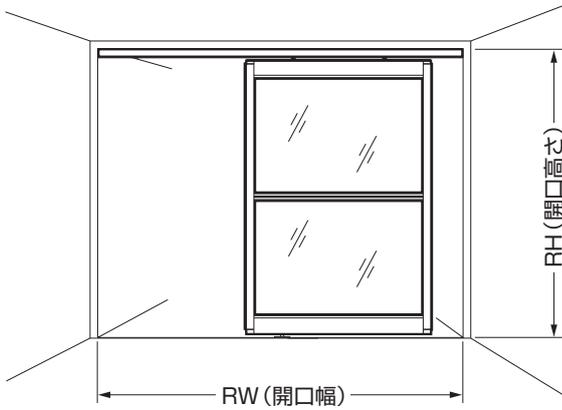
扉サイズ	棧フレーム必要数
W1600 × H2000 以内	2 本
W1500 × H2200 以内	
W1300 × H2500 以内	3 本
W1200 × H2700 以内	
W1100 × H3000 以内	4 本



※2 上レールと扉のすき間は -1 mm から +4 mm の範囲で調整できます。

割り切れない寸法が算出された場合は、小数点以下を切り捨ててください。

## ■納まり図



下ガイド仕様 : TH (扉高さ) = RH - 49.5  
 ガイドレール仕様 : TH (扉高さ) = RH - 47.5

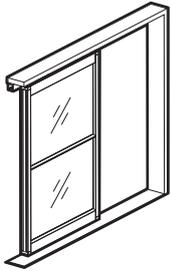
$$\text{扉幅TW} = \frac{(RW - 4) + (\text{重なり代の数} \times 25)}{\text{扉枚数}}$$

$$\text{ガラス高さGH} = \frac{TH - 104 - (\text{棧フレームの数量} \times 11)}{\text{ガラス枚数}}$$

$$\text{ガラス幅GW} = TW - 34$$

## 納まり例1

例) 1本引きで扉が1枚  
 開口幅1800 mm、開口高さ2100 mm時の扉1枚当りのサイズ



### 下ガイド仕様

$$\begin{aligned} TH &= 2100 - 49.5 \\ &= 2050.5 \\ &\approx 2050 \text{ mm} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} TW &= \frac{(1800 - 4) + (1 \times 25)}{2^{*3}} \\ &= 910.5 \\ &\approx 910 \text{ mm} \end{aligned}$$

### ガイドレール仕様

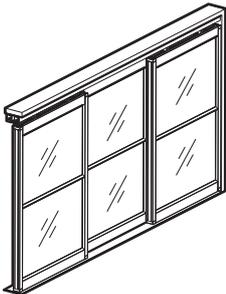
$$\begin{aligned} TH &= 2100 - 47.5 \\ &= 2052.5 \\ &\approx 2052 \text{ mm} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} TW &= \frac{(1800 - 4) + (0 \times 25)}{2^{*3}} \\ &= 898 \text{ mm} \end{aligned}$$

※<sup>3</sup> 扉は1枚ですが、脇の壁面を含めるため、2となります。

## 納まり例2

例) 2本引きで扉が3枚  
 開口幅2500 mm、開口高さ2100 mm時の扉1枚当りのサイズ



### 下ガイド仕様

$$\begin{aligned} TH &= 2100 - 49.5 \\ &= 2050.5 \\ &\approx 2050 \text{ mm} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} TW &= \frac{(2500 - 4) + (2 \times 25)}{3} \\ &= 848.666 \dots \\ &\approx 848 \text{ mm} \end{aligned}$$

### ガイドレール仕様

$$\begin{aligned} TH &= 2100 - 47.5 \\ &= 2052.5 \\ &\approx 2052 \text{ mm} \end{aligned}$$

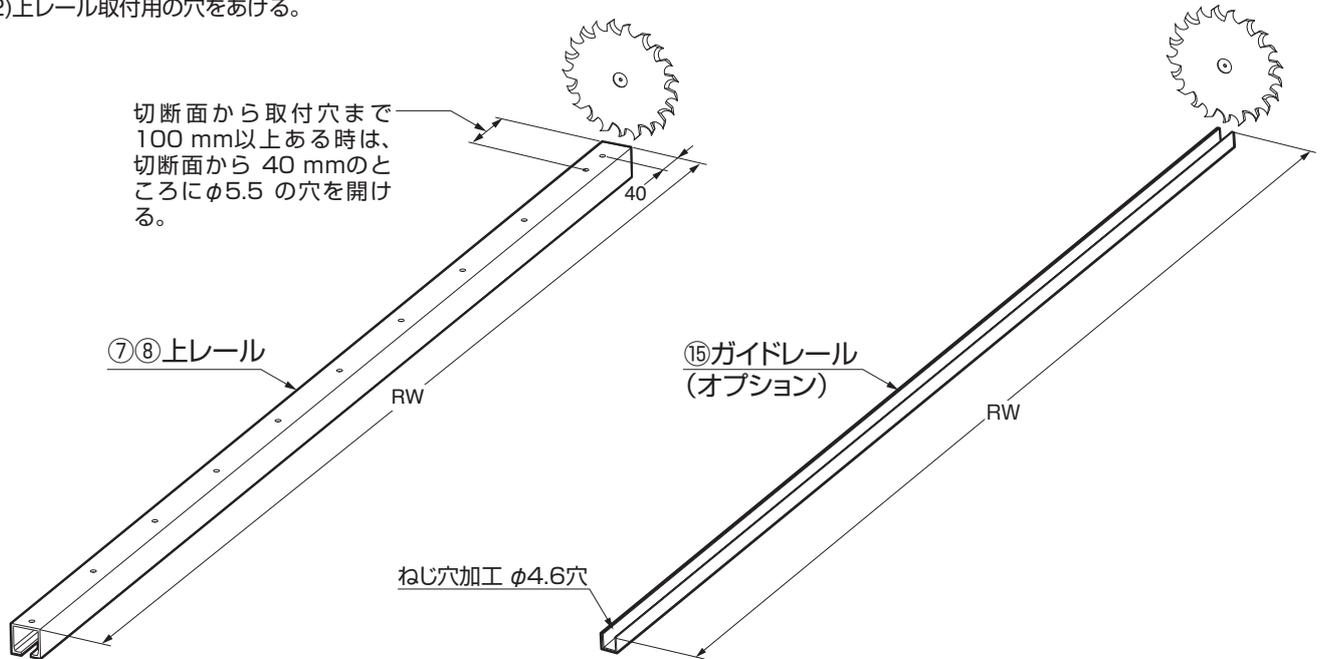
## 1 長尺部品の切断と穴加工

### ⚠ 注意

- ❶ 切断面が直角になるように正確に切断してください。また、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- ❷ 切りくずがレールの中に残らないようにきれいに取り除いてください。

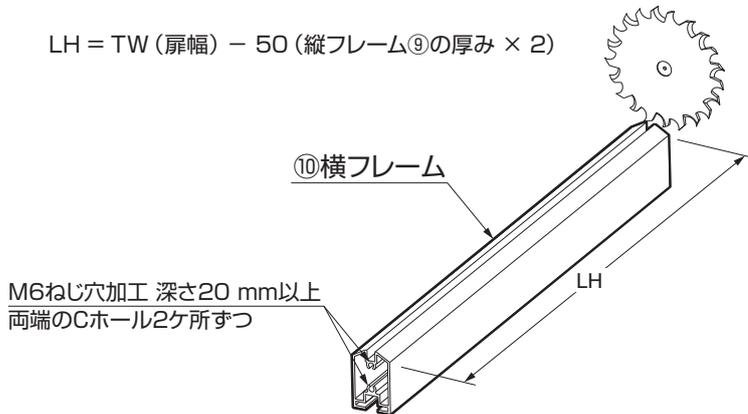
### 【1】上レール (⑦または⑧)、ガイドレール⑮ (オプション) の切断と穴加工

- (1) RW (開口幅) に合わせて切断する。
- (2) 上レール取付用の穴をあける。



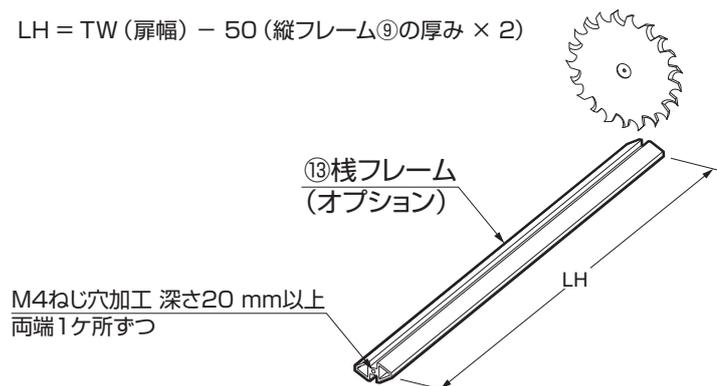
### 【2】横フレーム⑩の切断と穴加工

$$LH = TW (\text{扉幅}) - 50 (\text{縦フレーム⑨の厚み} \times 2)$$



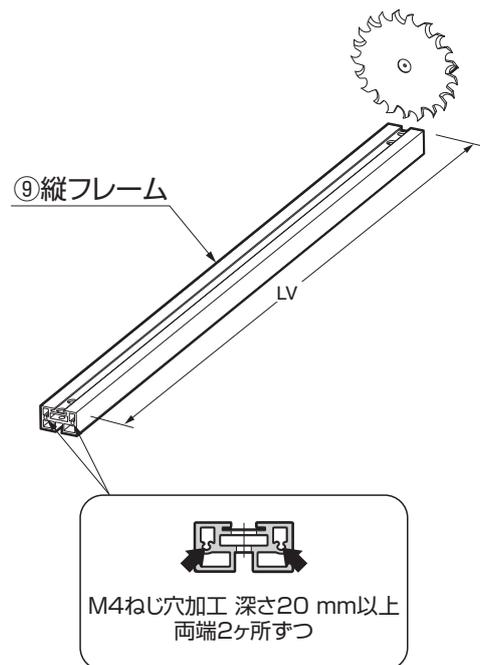
### 【3】横フレーム⑬ (オプション) の切断と穴加工 (使用時のみ)

$$LH = TW (\text{扉幅}) - 50 (\text{縦フレーム⑨の厚み} \times 2)$$



### 【4】縦フレーム⑨の切断と穴加工

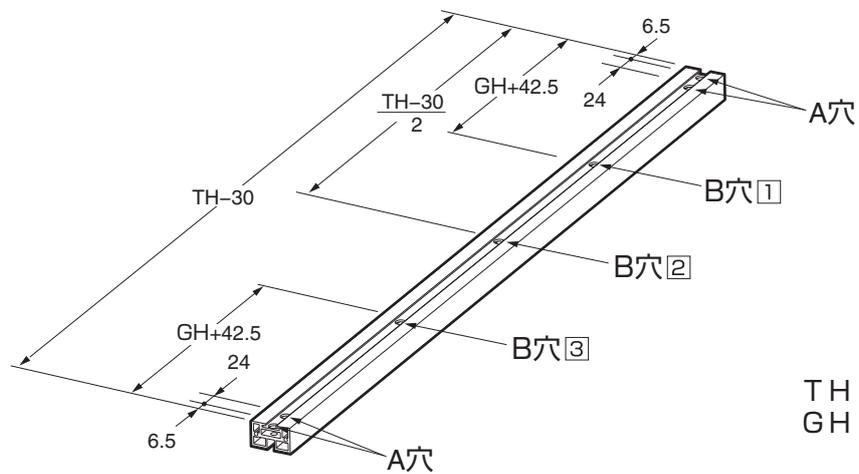
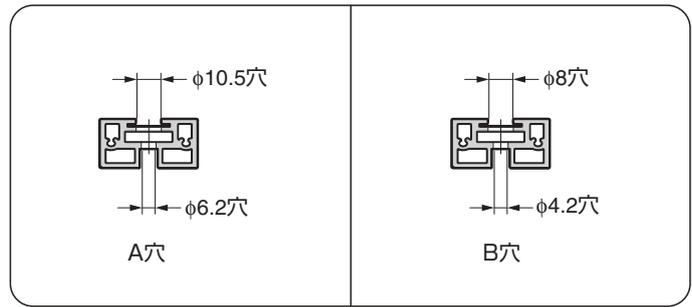
$$LV = TH (\text{扉高さ}) - 30$$



## [5] 縦フレーム⑨の穴加工

横フレームの使用数に応じて穴をあける。

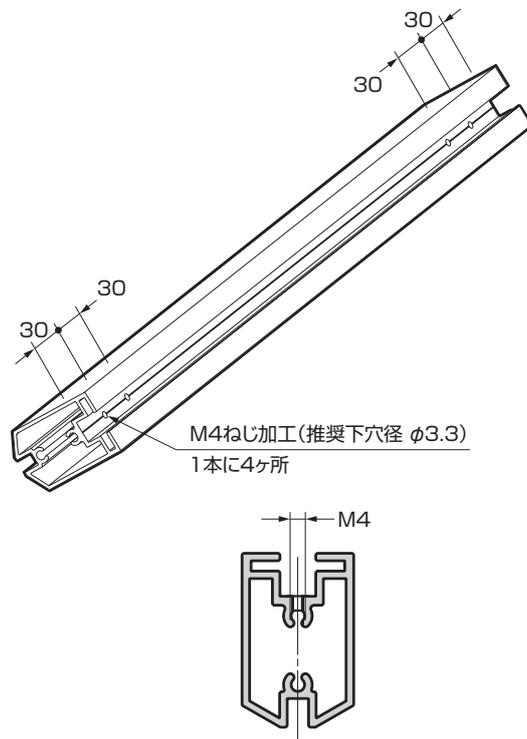
横フレーム⑨なしの場合	A穴のみ
横フレーム⑨1本の場合	A穴 + B穴②
横フレーム⑨2本の場合	A穴 + B穴①、③
横フレーム⑨3本の場合	A穴 + B穴①、②、③



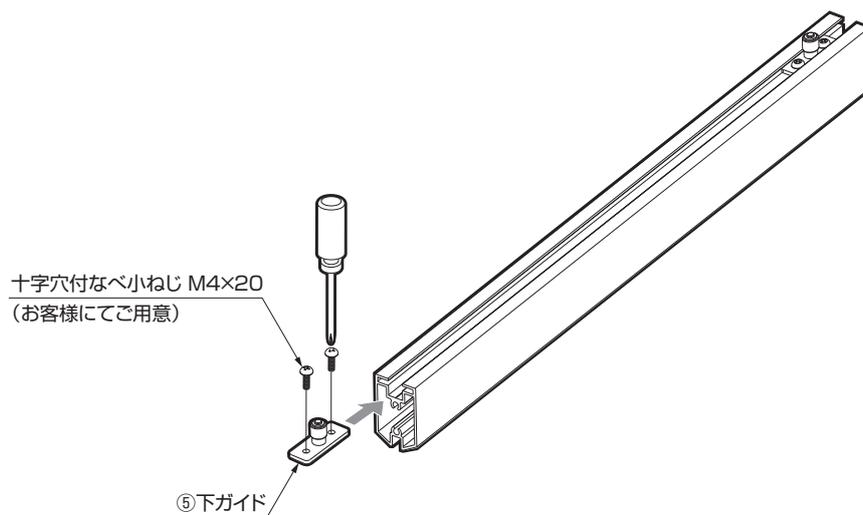
TH : 扉高さ  
GH : ガラス高さ

ガイドレール⑮を使わない場合、この加工は不要です。②へ進んでください。

### 【6】横フレーム⑩（下側）の加工

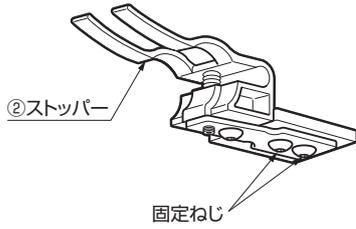


### 【7】下ガイド⑤を横フレーム⑩両端に取り付ける。

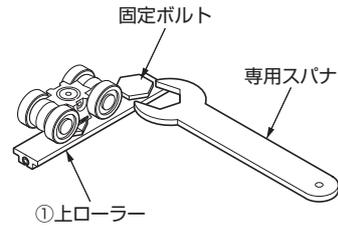


## 2 上レールへの部品の組み込み

【1】 レールに挿入しやすいよう六角レンチ3（付属）でストッパー②の固定ねじを少し緩める。

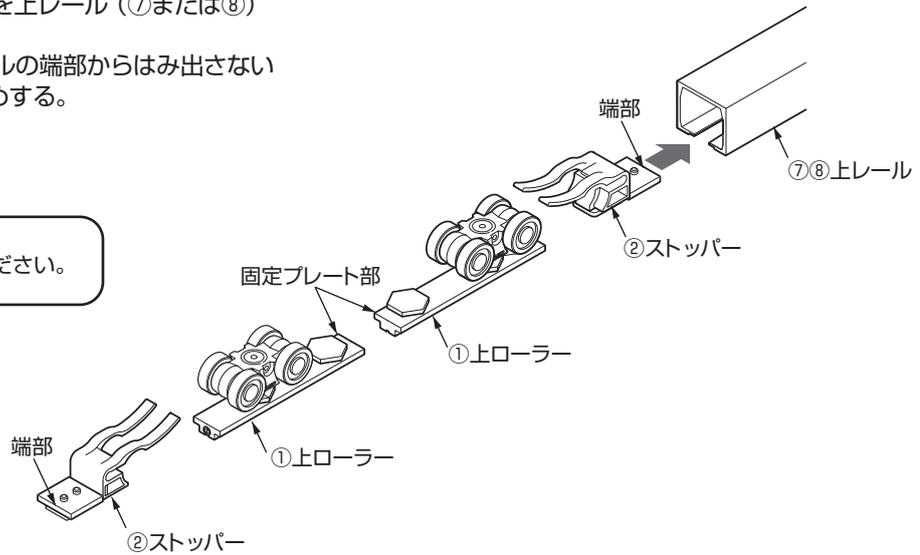


【2】 上ローラー①の専用スパナ（付属）で固定ボルトを少し緩める。



【3】 上ローラー①とストッパー②を上レール（⑦または⑧）内に入れる。

【4】 ストッパー②がずれて上レールの端部からはみ出さないよう、固定ねじを締めて仮止める。



### ⚠ 注意

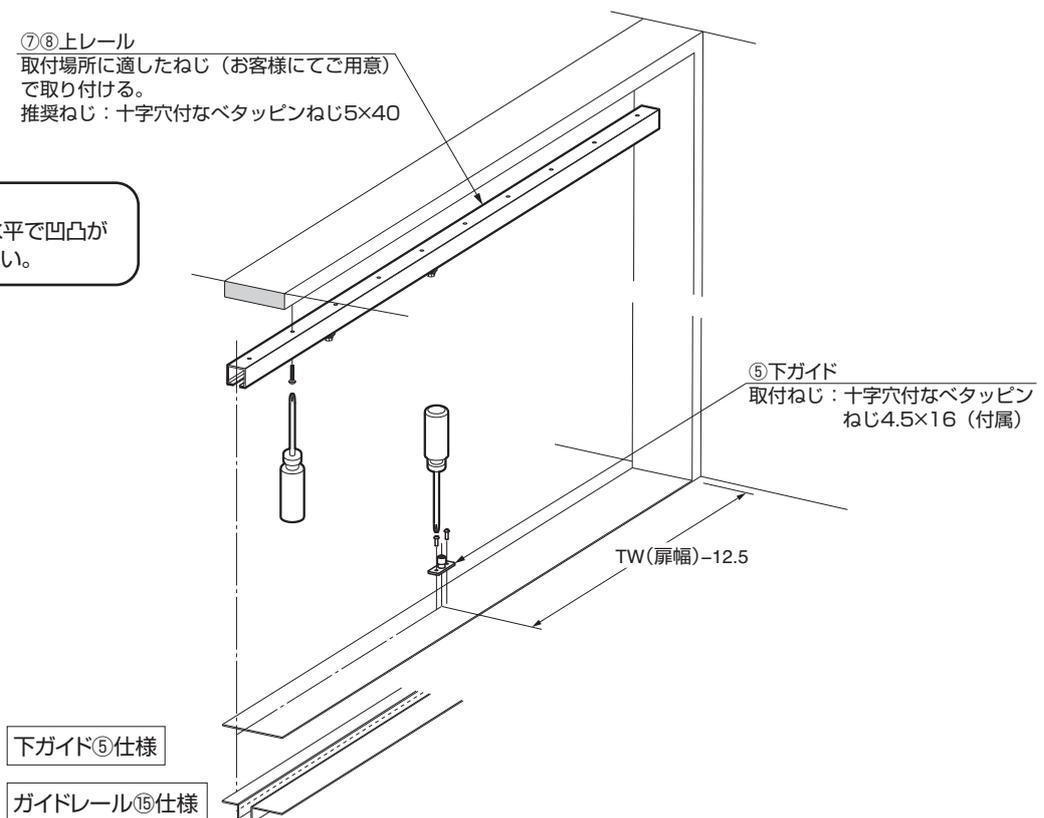
❗ ストッパーの向きに注意してください。

## 3 上レール（⑦または⑧）と、下ガイド⑤またはガイドレール⑮の取付け

⑦⑧上レール  
取付場所に適したねじ（お客様にてご用意）  
で取り付ける。  
推奨ねじ：十字穴付なベタッピンねじ5×40

### ⚠ 注意

❗ 上レールの取り付け面が水平で凹凸がないことを確認してください。



下ガイド⑤仕様

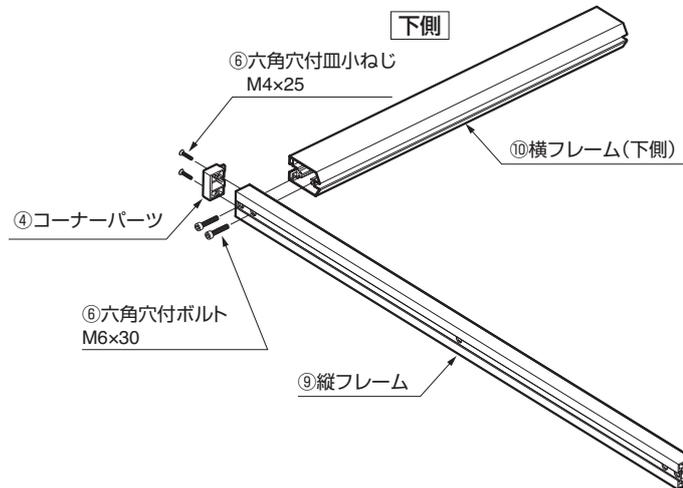
ガイドレール⑮仕様

## 4 扉の組立て

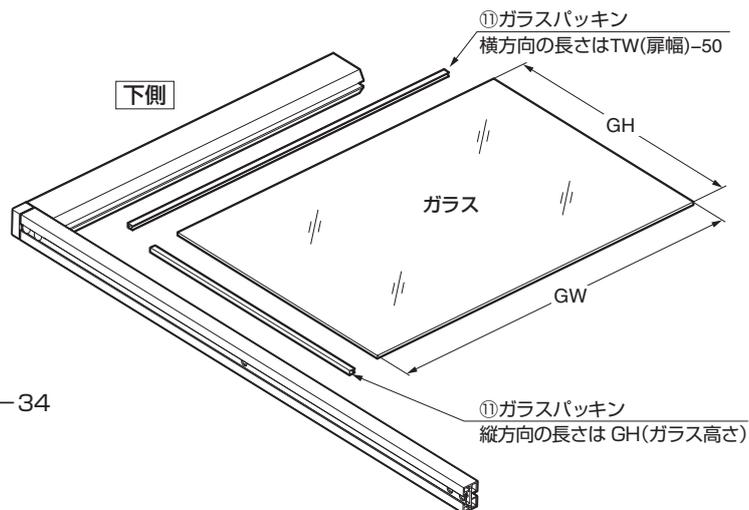
### ⚠ 注意

- ❶ 取付ねじにはネジロック等のゆるみ止め効果のあるものを塗布してください。
- ❷ 取付の際はガラスの扱いには十分気をつけて、けがのないようにしてください。

### 【1】縦フレーム⑨と横フレーム⑩（下側）の組立て



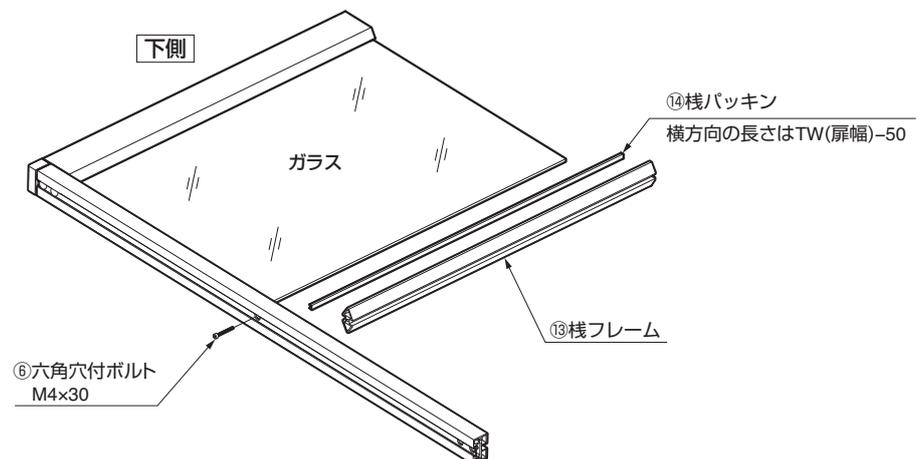
### 【2】ガラスのはめ込み その1



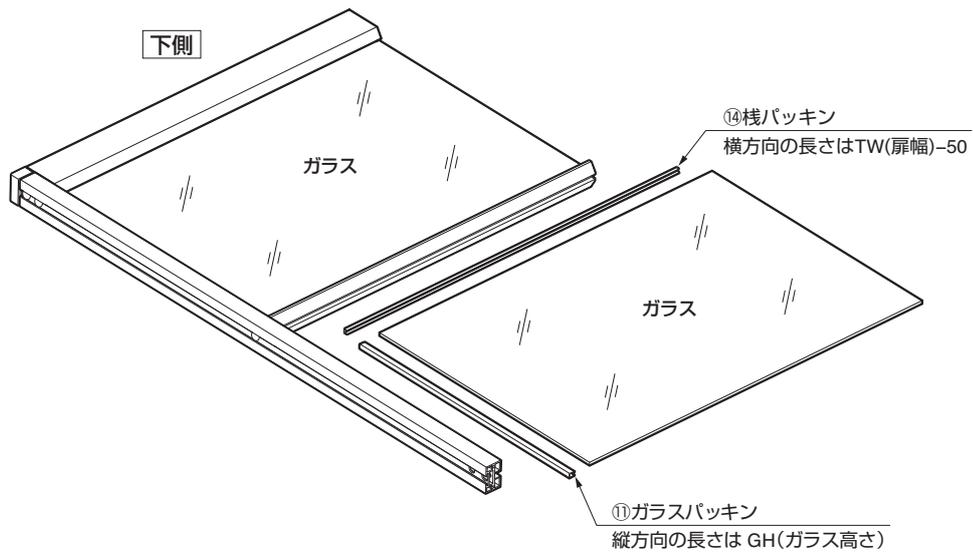
#### ■ガラス寸法

横方向の長さGW=TW(扉幅)-34  
縦方向の長さ=GH

### 【3】棧フレーム⑬の組立て（使用する場合）

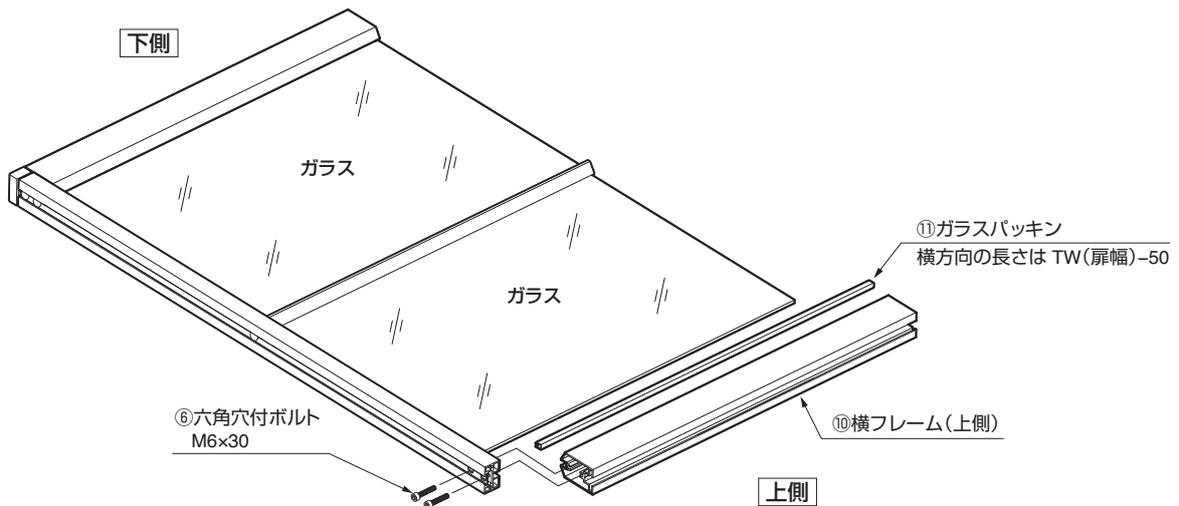


#### 【4】 ガラスのはめ込み その2 (棧フレーム⑬を使用する場合)

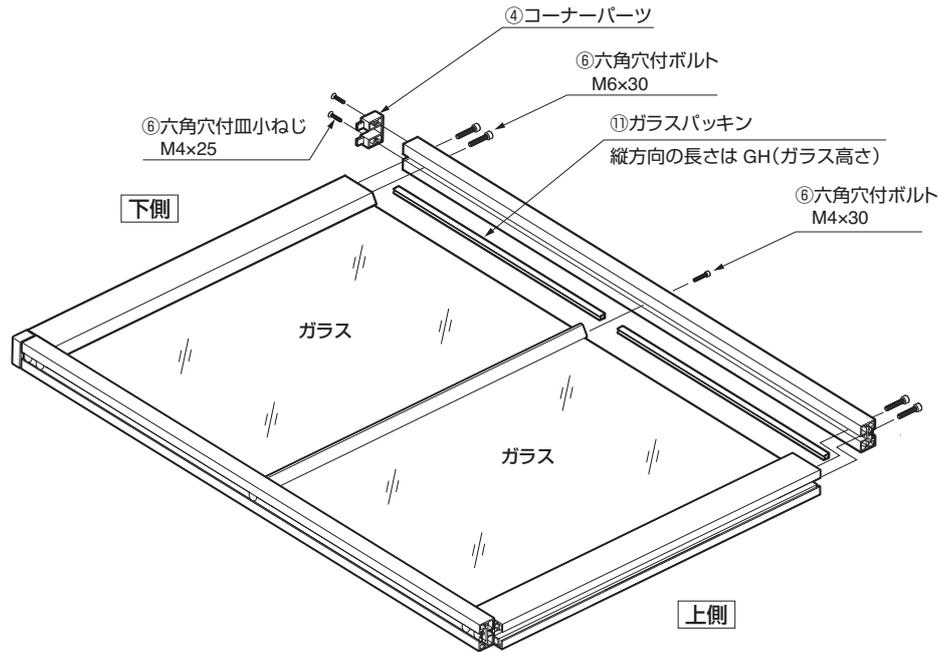


棧フレーム2本以上の扉仕様の場合は、手順9-3～9-4を繰り返して組み立ててください。

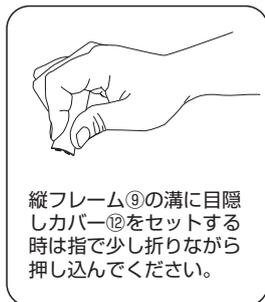
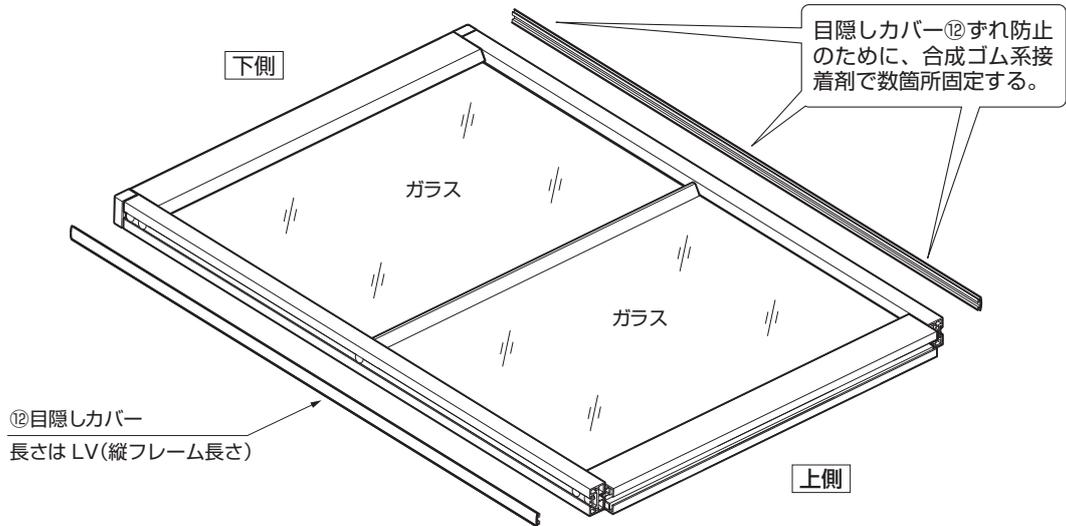
#### 【5】 横フレーム⑩ (上側) の組立て



## 【6】 縦フレーム⑨の組立て



## 【7】 目隠しカバー⑫の組込み



**⚠ 注意**

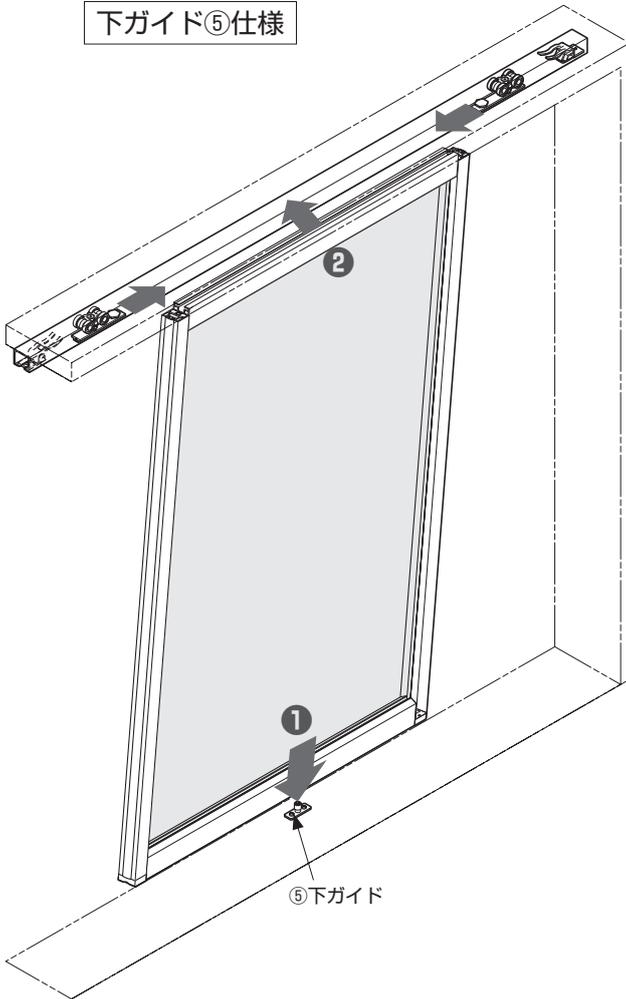
❗ 目隠しカバー⑫を組み込む前に、フレームのズレ・ゆがみがないこと、また、締結したボルトにゆるみがないことを確認してください。各部がしっかり、正確に組み込んであるか、そり・ゆがみがないか確認してください。

## 5 扉の吊込み

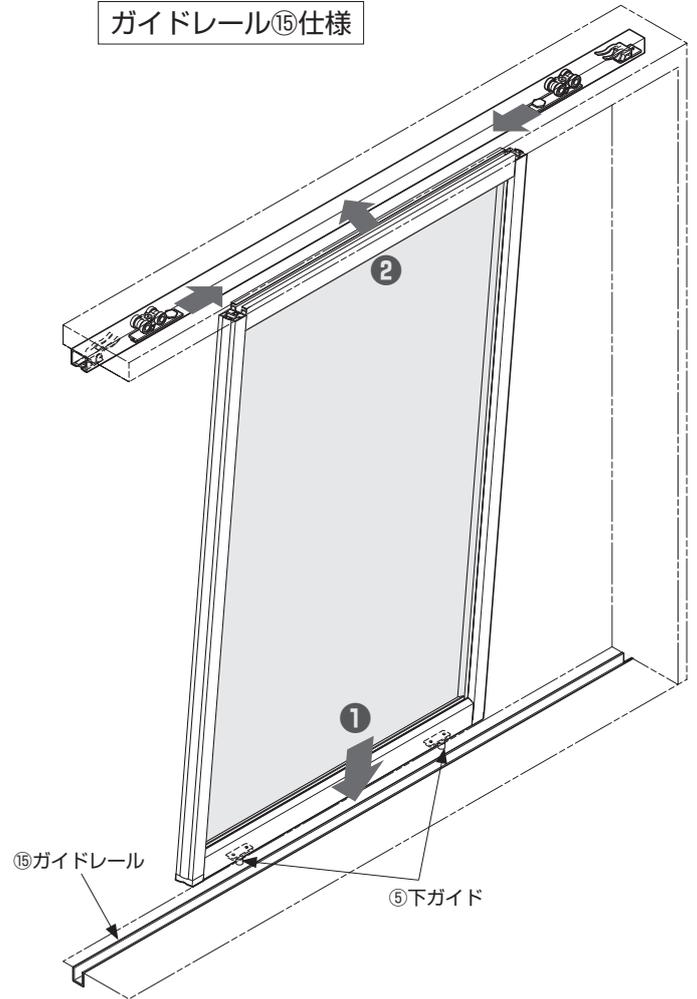
### ⚠ 注意

❗ 作業は知識、経験のある方を必ず一人加えてください。

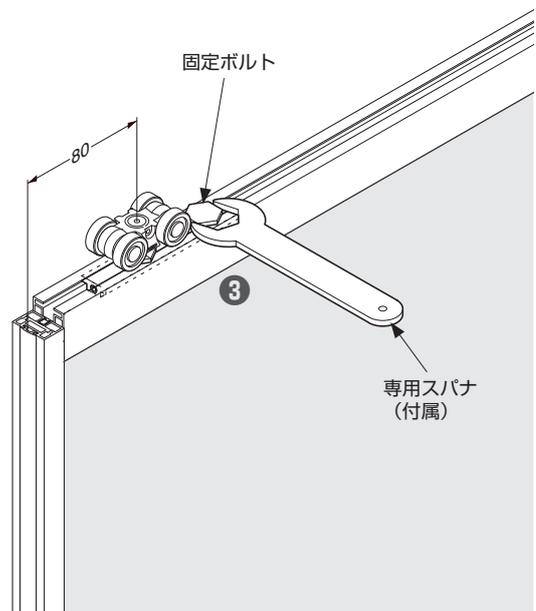
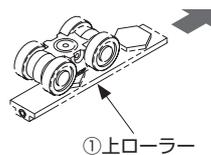
下ガイド⑤仕様



ガイドレール⑬仕様

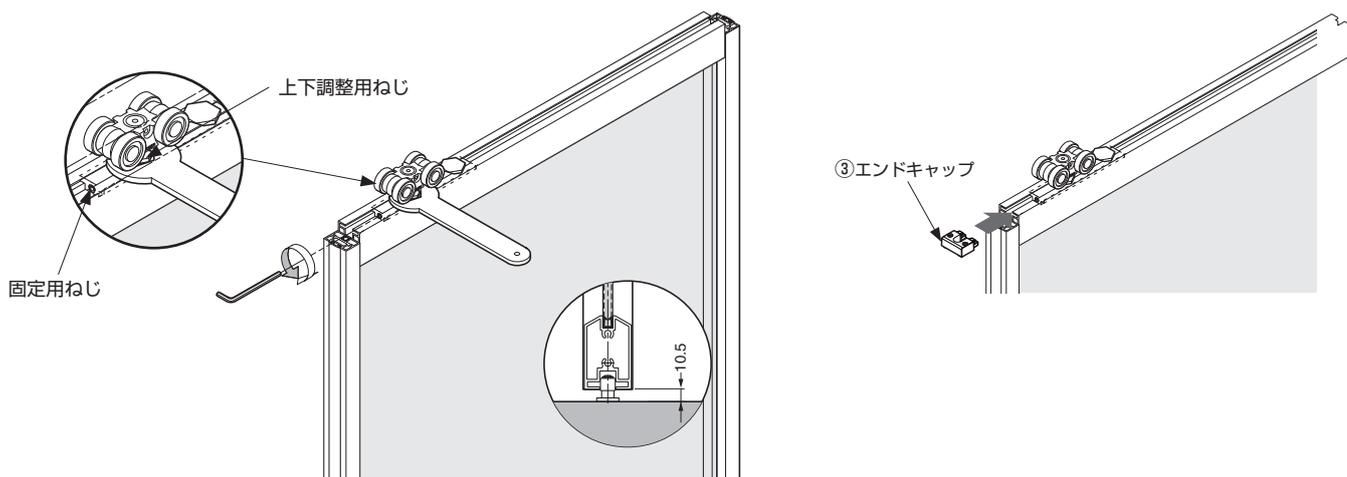


- 【1】 扉を吊り込む位置にかいものを置き、扉を図のように斜めにして下ガイド⑤の先端が横フレーム⑩(下側)の溝に入るようにセットする。
- 【2】 レールの中の上ローラー①を横フレーム⑩の溝に合わせ横から差し込む。
- 【3】 図のように扉の幅から80 mmの位置に合わせて専用スパナ(付属)で固定ボルトを締め付ける。



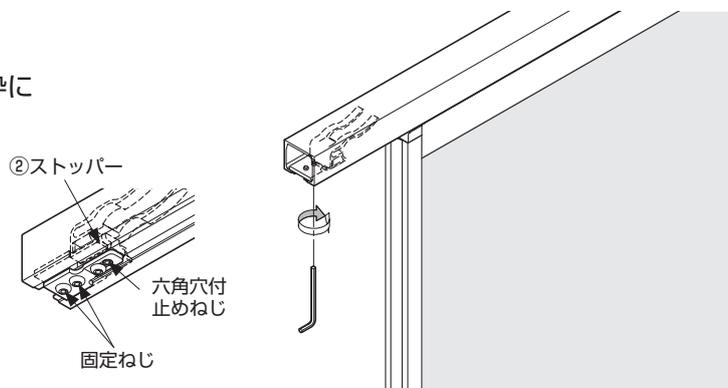
## 6 扉の高さ調整

- 【1】扉の下からかいものを外す。
- 【2】上ローラー①の上下調整用ねじを専用スパナ（付属）で回転させ、扉と床のすき間が10.5 mm（ガイドレール仕様は8.5 mm）になるように調整する。調整代は上方向に5 mmです。
- 【3】上ローラー①の固定用ねじを六角レンチ3（付属）で締め付ける。
- 【4】下図のようにエンドキャップ③を扉の両側に取り付ける。



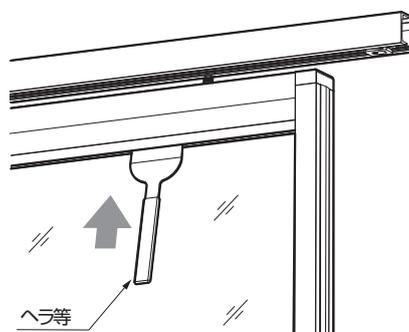
## 7 ストッパー②の固定と調整

- 【1】ストッパー②の固定ねじを締め付けて、扉が枠に当たる位置に固定する。
- 【2】扉の開閉操作を行い、走行状態を確認する。



組み立ての際、ガラスパッキンがめくれてフレームより出てきてしまうことがあります。

その時はガラスを傷つけないように気をつけながらヘラ等先の細いもので中に押し込んでください。



**定期点検**

- ・レール内の清掃をしてください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をしてください。

**■困った時の対応**

症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	床面または下ガイドに扉下面が擦っていませんか。	レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に、P.3「寸法図」に従い扉の高さを調整してください。
	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように、下ガイドの位置を調整してください。
	レール部のローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取り除いてください。
	レールを枠に取付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	床面または下ガイドに扉下面が擦っていませんか。	レールを取付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が 10 mm になるようにしてください。
	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように扉の前後調整、または下ガイド、ストッパーの位置調整をしてください。
扉が開閉しない	レールを枠に取付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように上レールを付け直してください。

**本製品に関するご質問・ご相談は、  
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。**

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

**SUGATSUNE** **スガツネ工業**  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30  
E-mail : support@sugatsune.co.jp

2021.12 0546-7s